

みのかも 市議会 だより

2021年 みのかも成人式



みのかも成人式2021
(令和4年1月10日開催)

2022年 みのかも成人式



みのかも成人式2022
(令和4年1月9日開催)

主な内容

- ◆定例会の審議結果
議会日誌・議会傍聴しました
..... 2~3P
- ◆委員会審査の概要 4~5P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
..... 6~13P
- ◆活動ピックアップ・編集後記・
お知らせ 14P

令和3年市議会第4回定例会

補正後総額257億7,149万9千円の
一般会計補正予算案などを可決

（定例会の審議結果）

令和3年

第4回

定例会

令和3年11月29日に美濃加茂市議会第4回定例会が開会され、会期を12月17日までの19日間と決定しました。その後、3億1,774万8千円を増額する令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算（第12号）を含む10案件（請願3件含む）を上程し、提案説明を行い、散会しました。

第11日目（質疑）は、1,710万5千円を増額する令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算（第13号）が上程され、提案説明、質疑を行い、散会しました。

第19日目（最終日）は、11議案について、各常任委員会の委員長報告の後、採決を行い、定例会を閉会しました。

議案 クローズアップ

議第65号

美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する
条例について

【概要】

本市の森林公園である下米田さくらの森園内において、行楽及びレクリエーションを目的とした野外調理については、火気の使用を認めていましたが、森林公園機能の保全を図るために火気使用を禁止するもの。

施行期日：令和4年4月1日から



議 会 日 誌 (主なもの)

11月	2日 議会運営委員会 地方自治連絡協議会	18日 中部国際医療センター竣工式
3日 美濃加茂市功労者表彰式	22日 議会だより編集委員会 可茂地域一部事務組合議会 定例会	26日 消防団年末夜警出動式
12日 岐阜県市議会事務局職員研修会	1月	
16日 議会運営委員会	4日 市職員仕事始め式	
19日 長野県佐久市議会 行政視察	8日 新春消防友の会 青年会議所新年式典	
25日 議会運営委員会	9日 2022年みのかも成人式	
26日 美濃加茂市・富加町中学校組合議会 定例会 市議会議員OB総会	10日 2021年みのかも成人式	
29日 議会だより編集委員会 文教民生常任委員会勉強会	11日 議会だより編集委員会	
12月	14日 堂上蜂屋柿品評会	
8日 議会運営委員会	17日 議会だより編集委員会	
10日 文教民生常任委員会勉強会	31日 議会運営委員会	

（定例会の審議結果）

議案の審議結果

議案番号	議案名	主な内容
議第64号	美濃加茂市部設置条例等の一部を改正する条例について	機構改革に伴い所要の改正を行うもの
議第65号	美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	下米田さくらの森について火気の使用を禁止することに伴い、所要の改正を行うもの
議第66号	美濃加茂市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	看護小規模多機能型居宅介護の指定について法人だけでなく、病床を持つ診療所も指定できるよう所要の改正を行うもの
議第67号	美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法等の改正により、出産育児一時金を変更し、未就学児に係る国民健康保険料の均等割額を減額するため、所要の改正を行うもの
議第68号	令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算（第12号）	3億1,774万8千円の増額、予算総額は257億5,439万4千円
議第69号	令和3年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第2号）	103万円の増額、予算総額は40億2,810万6千円
議第70号	市道路線の認定について	加茂野481号線の認定
議第71号	令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算（第13号）	1,710万5千円の増額、予算総額は257億7,149万9千円

その他の議案

議案番号	議案名 主 な 内 容	議決結果	議 員 名															
			永田徳男	田口智子	坂井文好	酒向信幸	渡辺孝男	牧田秀憲	渡辺義昌	村瀬正樹	高井厚	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	森厚夫	山田栄
請第3号	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書採択についての請願について	×	×	×	×	×	×	×	-	×	○	○	×	○	×	×	×	×
請第4号	子どもたちの給食に関する請願について（文教民生常任委員会所管）	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請第5号	子どもたちの給食に関する請願について（企画建設常任委員会所管）	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※請第4号、請第5号については、委員会の「趣旨採択」との審査に対する賛否。

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・「530さんぽ」のことを初めて知りました。一人暮らしの老人の悲しさ、社会とのつながりのなさを痛感しました。また、「スポGOMI」も知り、いずれも子どもの教育に必要と同感です。
- ・傍聴に訪問することは議会の活性化になると思い傍聴することにしました。議会の空気もピリッとしてよかったと思いました。議員や市職員の方々にこれからも真剣に子どもたちのためによりよくお願いしたい。
- ・全ての事業がSDGsにつながっていると思いました。知らないことが知れてよかったです。
- ・オーガニック給食に興味があり来させていただきました。多くのお母さんが関心を持っていることです。少しづつでも取り入れていっていただきたいです。

（委員会審査の概要）

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《 》は議案名、◆は主な内容、（ ）は補正金額

文教民生常任委員会

《美濃加茂市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について》

問 条例改正に影響する施行日が平成30年4月1日となる理由は。

答 国の介護保険法の改正がこの期日であることが理由であるが、本市が定めた第7期介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）において、当時、看護小規模多機能型の施設整備を計画していなかったため、条例改正を行わなかった。

問 病床を持つ診療所が指定を受けられるとあるが、対応する診療所があるのか。

答 現在、対応する診療所はない。公募するにあたり、参加条件を拡大したもので、市外からの応募も可能である。

《令和3年度市一般会計補正予算（第12号）》

◆小学校施設宮繕工事（3,825万円）

問 太田小学校での駐車場拡張工事に係る、家屋の解体件数と費用は。

答 解体の該当家屋は2件である。費用については、アスベストの調査費用も含めて直接工事費として600万円から700万円程度を考えている。

◆中学校施設宮繕工事（1,620万円）

問 東中学校のパソコン教室を普通教室に改修する工事について、今後、パソコン教室を使用した授業はどう行うのか。

答 現在、GIGAスクール構想等の進捗により、各児童生徒に1台ずつタブレットが配布されていることから、パソコン教室の必要性がなくなってきている。よって、パソコン教室を使用した授業は考えておらず、教室がなくなっても影響はないと考えている。

問 今後の生徒児童数について、どのような予測をしているのか。

答 今後5年間において、市全体として減少傾向に

なるとは見込んでいない。とくに、東中校区は増加傾向であると想定している。また、新型コロナウイルスの影響や、外国人市民の動向も注視して対応していきたい。

◆地域密着型サービス等整備助成事業費補助金（340万円）

問 補助金の詳細は。

答 入浴時の介護ロボットを2台導入するものであり、県の要綱に基づき補助金の申請を行い、交付の決定があったものである。補助金の上限金額は、配分の基礎単価に定員数を乗じた金額、又は事業者からの申請額の低いほうが基準となり、今回は申請額が適用されている。

◆新保育園整備事業（808万円）

問 事業費の内訳は。

答 解体設計業務及び整備工事については、古井第二保育園の解体設計費用が53万5,000円、蜂屋保育園の解体設計費用が75万8,000円である。整備工事費については、外構工事が488万2,000円、建築工事が230万5,000円である。

《日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書採択についての請願について》

・主な賛成意見

この条約は核兵器の開発、生産、実験、製造、取得、保有、使用、威嚇など、あらゆる活動を禁止しており、日本は唯一の被爆国として、核兵器のない、戦争のない世界を目指していくことが責務である。条約に署名することが戦争のない世界への第一歩だと考える。

・主な反対意見

日米安全保障条約によるアメリカとの協力関係を踏まえると、慎重な対応が必要である。また、核保有国が条約に署名していないのが現状であり、我が国は唯一の被爆国として、核保有国と非保有国との橋渡しをすることが最大の責務であると考えている。

《子どもたちの給食に関する請願について（文教民

（委員会審査の概要）

生常任委員会所管》

学校給食は、子どもたちが成長していくうえで非常に重要なものであり、オーガニック、地産地消、食育等の推進について趣旨には賛同するが、国内で農薬を使用しないなど、条件が厳しい有機農法に合

致する生産量がどれだけあるのか、食材の確保や費用など、多くの課題があるのでないかと考える。

また、請願項目についても、国や県に要望書を提出するには、具体性に欠ける部分があるため、我々議員としても調査研究を行う必要がある。

企 画建設常任委員会

《美濃加茂市部設置条例等の一部を改正する条例について》

問 市民への周知方法は。

答 広報4月号で機構改革について特集を組んで説明する。その中で、ゴールデンウィーク明けの部署の配置換えについても説明する。市民が混乱しないよう窓口でも早めにお知らせしたい。

問 新たな部を設置するにあたり、関係各所との市の対応は。

答 幼稚園は文部科学省、保育園は厚生労働省、幼保連携型の認定こども園等は内閣府と、管轄する国の省庁は違うが、窓口を一本化して市民サービスに努めていきたい。

《美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について》

問 行為の禁止規定の詳細は。

答 下米田さくらの森での火気使用について、マナーが守られていないなど、常時監視ができないため、禁止することとした。

《令和3年度市一般会計補正予算（第12号）》

◆中小企業支援事業（488万3千円）

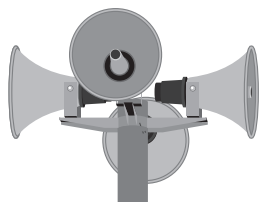
問 住宅リフォーム助成補助金を補正する理由は。

答 増改築など、20万円以上となる工事費の20%、上限10万円を補助するもので、12月7日現在、申請件数が97件で、すでに昨年度末と同等の件数となっているため、増額するものである。

◆災害時情報伝達体制確立事業（1億2,707万円）

問 新たな放送装置の増設理由と工事請負費の詳細は。

答 デジタル化に移行後、建物の影響や地形の問題で無線が聞こえにくいというお問い合わせが多かったので、夏以降職員で調査し、



調査結果を踏まえて、25か所放送装置を増設するものである。財源については、7割が交付税措置される市債を活用して施工する。

《子どもたちの給食に関する請願について（企画建設常任委員会所管）》

願意は理解できるが、実現には農薬不使用で安定した収量を確保できるのかなど課題が多く、採択は難しいといった意見や、総論賛成、各論反対のような考え方でなく、市民の思いを実現させていくよう期待に応えるべきであるとの意見、本市はSDGs推進に取り組んでおり、将来目指すべき方向性であるため採択すべきであるとの意見があった。

内容については検討すべき点が多く、給食費、有機農法や農薬使用等、総合的に審議すべきであり、時期尚早である。



本会議の様子は、

議会中継でチェック！

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひご視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス
<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>



美濃加茂市議会 議会中継

検索

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）

市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登場し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
 (掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



渡辺義昌議長

■ 美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継



議会中継



■ 視聴方法 [トップページ](#) ▶ [会議名一覧](#) ▶ [令和3年第4回定例会](#) ▶ 12月7日・8日 [一般質問](#)

■ 会議録検索システム <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



片桐美良 議員

令和4年度予算編成について

問 基本方針と重点施策は。

答 ウォークアブル推進都市を実現するため、基本構想の6つのまちづくり宣言を重点施策として、事業を推進していく。

問 市税収入の今年度見通しと来年度予測は。

答 今年度の市税収入は、昨年度の収入額と比較し約4.6%の減、金額で約4億円の減収となり82億円程度と見込んでいる。来年度税収は今年度と同程度もしくは、若干の増額になると予測している。

問 ふるさと納税収入は。

答 今年度の寄付額は、11月末現在約3億2200万円、最終的に6億4千万円程度となる見通しである。

新庁舎整備説明会について

問 11月に開催した説明会の所感は。

答 およそ200人の市民の皆様に参加いただいた。アンケートでは7割近い方が理解できたと回答され

た。また、中心市街地の活性化やまちづくりについての意見や提案もあり、事業への期待も強く感じた。

問 今後の説明会及び出前講座についての考えは。

答 若い人たちや子育て中の世代の方々などと意見交換の場を創出し、その意見や提案を未来のまちづくりに活かしていきたい。説明会に参加出来なかった方にも出前講座などを通じて説明していきたい。また、新庁舎整備説明の動画も公開しているので、ぜひ視聴いただきたい。

市内JA支店統合跡地利用について

問 跡地利用方針を聞いているか。

答 古井支店は、売却または賃貸借を検討されている。市としては最終的に取得できるような方向で協議を始めた。山之上・古井支店は、建物も当面は現状のまま存続し職員を1～2名配置して営業所として活用すると聞いている。

問 市としての活用の考えは。

答 古井支店は、事務所を学童保育や地域活動拠点に、倉庫を防災備蓄倉庫として活用させて頂きたいと考えている。山之上支店の倉庫の一部を地元まちづくり協議会が活用する方向で協議が進められているようである。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



高井 厚 議員

加茂野保育園管理運営事業の変更について

問 加茂野保育園の運営を、市の直営から民間委託に移行する案が不調に終わり、令和4年度から3年間3億9千万円の予算立てを、令和5年度からのそれに変更するものであったが、不調に終わるまでの経緯の概略は。

答 加茂野保育園及び児童館の指定管理者の選定については、令和3年7月16日から8月10日までを募集期間としたところ、2事業者の申し出があった。

9月6日のプロポーザル審査委員会開催までに1事業者の辞退があり、残り1事業者を対象に審査委員会を開催した。審査委員会には8名の委員が出席し、プレゼンテーション及びヒアリングを行った上で審査をしたが、最優先事業者の選定には至らなかった。

問 不調の原因分析と今後の進め方は。

答 ①応募事業者が、定員60人規模の保育園運営事業者であったため、今回の170人規模の保育園運営に不安感が残った点と、②応募事業者が学童保育

の経験がなく、学校との連携がスムーズに行えるかどうか疑問が残った点があげられる。

また、応募の事業者が少なかったことに対する課題としては、①現在のコロナ禍で、保育士の確保が約束できないこと、②引継ぎ期間の関係で、保育の継続性に課題が残ること、③児童館で学童保育を実施することに対する不安があること、④民営化後の児童館の運営に関する委託料が不明確であったこと、などがあげられると考えている。

現在、令和5年度からの指定管理及びその後の民営化に向けた課題解決を目的に、「サウンディング^{*}市場調査」を行っており、4社から申し込みがあった。そこで聴取した意見を参考に、先程の課題などを解決した上で、「プロポーザル実施要領」や「業務仕様書」を見直し、実施時期を早め、来年早々には再度プロポーザルを行っていく予定である。

^{*}サウンディング

行政と民間業者が事業内容や事業スキームに関して事前に対話すること。



森 弓子 議員

新庁舎整備事業について

問 市内木材の有効活用と木質化の考えは。

答 県産材需用拡大施設等整備事業など補助金の活用を視野に入れながら、脱炭素社会の実現につながる内装の木質化等、県産材・市産材等を活用し、木のぬくもりを感じることができる庁舎、里山千年構想の実現に資する庁舎を目指したい。

問 新庁舎の商業施設・にぎわい創出構想は。

答 新庁舎には、庁舎機能だけではなく、賑わい機能として、現在の市商業ビルが持つ役割を引き継ぐ形で、コンベンション機能や商業的機能を備えたいと考えている。

コンベンションホールのほか、ブックスタンドやカフェ、市民が自由に利用できるロビー、観光や特産品等の情報発信拠点などがその具体例であり、民間との連携や、若い人たちの起業を支援する取り組みにつながることで、地元の農産物を美味しく楽しむことができる機会の創出などを期待したい。

牧野工業団地について

問 企業誘致の進捗状況は。

答 このたび、牧野工業団地に隣接し八百津町にまたがる約6.5ヘクタールの民間開発事業区域に愛知県内に本社のある木造住宅関連企業が、これから設備などの設計や諸手続きを始めて、できるだけ早い操業開始を目指していると伺っている。

市では、支援制度の活用を想定し、雇用の創出や地元経済への波及効果を期待している。地元説明会については、進出予定の企業より計画が明確になった段階で行うと伺っている。

トイレの要望の取り扱いについて

問 屋外トイレの洋式化の早期実施は。

答 市内の都市公園の屋外トイレの内、洋式便器の設置されていない公園は11箇所、不便を強いられている声を利用者から頂いていて、施設管理者として洋式化は喫緊の課題だと認識している。

現在は屋外トイレに特化した実施計画は策定していないが、災害時の避難所や公園利用者の利用状況を勘案し、早期に優先順位を決め、屋外トイレの洋式化に取り組んでいく。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



柘植宏一 議員

市街地再開発に関わる
にぎわいづくりについて

問 飲食店や小売店の新規出店に際し、利用し得る優遇措置は。

答 商工会議所の「みのかも創業塾」や「女性のための 起業家支援セミナー」の受講者に対する法人設立時の登録免許税軽減、「姫Biz」による随時相談支援、市内の施工業者に発注する場合の「小規模企業者事業所等整備補助」、駅周辺地区の空き店舗出店者に対する商工会議所の「商店街空き店舗活用事業補助」における家賃補助、中山道太田宿区域内の「姫街道事業に伴う起業支援補助」の施設整備費や家賃への補助などがある。

問 チャレンジショップの開設やキッチンカーの営業スペース確保の考えは。

答 「みのかもSDGs推進協議会」のヒアリングにおいても、コンテナ等を活用した「チャレンジショップの開設」や「キッチンカーでの販売」が提

案されており、まちの回遊性を増加させ、地域の皆様が交流することで、自然にコミュニティが創出されるような環境づくりは「まちなかの再生」にとって大切な視点のひとつであると考えており、今後関係機関とも調整・検討していきたい。

新型コロナ対策について

問 学校における子供たちの行動制限について、感染状況に応じ積極的に緩和する必要があると考えられているかどうか。

答 学校運営上も更に緩和したいところではあるが、感染拡大を防止するために、検温や健康チェック、飛沫感染を防ぐための黙食、三密の回避等を実施していく必要があると考えている。

問 公共施設利用等におけるワクチン・検査パッケージの活用は。

答 国の「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」の但し書きにおいては、公共的なサービス等は国民を公平・平等に幅広く対象とする場合が多いことから、より一層の慎重さを求めている。市では公共施設での、ワクチン・検査パッケージを適用しないこととした。福祉会館の浴室の再開においても同様である。



山田 栄 議員

第8期介護保険事業計画について

問 高齢化率は年々増加していく中、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年、更には団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備について伺う。

答 当市では厚労省が運営する情報システムを活用し、2040年までの人口推計や認定率の推移、介護需要などを推計、分析することにより、第8期における計画策定をしている。

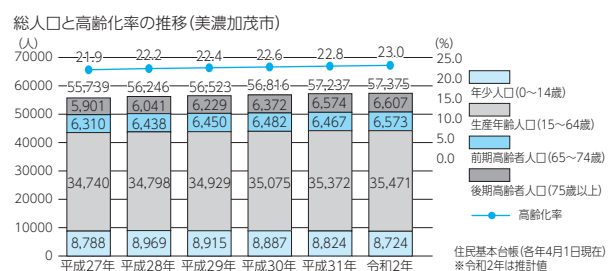
本計画としては、訪問介護を一体的に提供できる地域密着型サービスとして「看護小規模多機能型居宅介護」1か所の整備を進める。また、人的基盤としては、地域における見守り、支えあい体制を強化するための担い手の養成などを盛り込んでいる。

問 地域における自治会住民の「絆」「共助」を活かした地域共生社会の実現について伺う。

答 自治会組織は地域の絆づくりに重要な組織であると考えている。

一方、高齢を理由に自治会を退会されるなど、地域とのつながりが希薄になっている高齢者がおられることも事実である。近年、8050問題や育児と介護のダブルケアなど、地域住民が抱える課題も複雑・複合化しており、子ども・高齢・障がい・生活困窮などそれぞれの分野別支援体制では対応が困難になっている現状も見受けられる。

当市では、自治会加入、未加入に関わらず、既存の相談支援等の取り組みを活かしつつ、必要な人や世帯の支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制を構築していく。また、同時に地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と支援がつながることで住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に作っていく「地域共生社会の実現」につながる地域包括ケアシステムの更なる構築に向け、関係各課・関係機関とともに協議を進めている。



（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



村瀬正樹 議員

新庁舎建設問題について

問 説明会が一巡した。美濃太田駅前を整備地とする案について、賛成（理解、納得、同意）、反対（疑問、反対、見直し）の割合はどのようであったか。地区別の様子も併せて伺う。

答 新庁舎整備事業市民説明会を11月8日から、これまでに市内各地区で12回開催したが、合計で200人の市民の皆様にご参加いただいた。

今回の市民説明会は、市民の皆様にご特定の事柄に対して、賛成や反対の態度を表明していただく場ではないと考えている。

2年前に開催した「市長の語る会」形式の説明会では、駐車場や浸水対策などへの質問が多くあったが、今回は、そうした課題の他に、中心市街地の活性化やまちづくりについての意見や提案もいただいた。また、地域によっては、新庁舎の整備とあわせてサテライト拠点の充実やアクセス道路の整備などを求める声もあった。

問 整備地を決定するのは、市長執行部の案や議会の議決だけではなく、市民の声・総意を取り入れるべきと思うがどうか。そのためにも、広報で特集を出したり、自治会回覧で情報を広めたりした上での、住民投票や市民アンケートの実施など、より多くの市民の声を聞く努力をする必要があると思うが、見解は。

答 新庁舎の整備地として、美濃太田駅周辺が最適であるという「未来のまちづくり委員会」の答申をもとに、美濃太田駅周辺に新庁舎を整備する新庁舎整備基本計画を策定したいと考えている。

なお、市役所の位置は議会の議決を得て条例で決定されるものであり、基本計画の策定を経て議会に条例を提案させていただき、審議いただくことになる。

よって、新庁舎の整備地は議会で決定いただくことであることから、住民投票の実施は予定していない。



金井文敏 議員

グリーンライフ・ポイント^{※①}について

問 事業目的は。

答 環境省が2022年4月から実施するグリーンライフ・ポイント推進事業は、日頃の環境配慮がポイントとして還元される取り組みを通して、国民が地域や社会の環境問題を自分事として環境配慮行動を持続的に実施するとともに、地域の環境課題の解決と成長を実現することを目的としている。

問 グリーンライフ・ポイントの導入は。

答 市としては、みのかもローカルSDGsの取り組みの中で、ポイントの仕組みを検討している。制度の活用についても考えていきたい。

美濃太田駅北口バス停の防寒対策について

問 バス停の防寒対策は。

答 現在の美濃太田駅北口のバス待合所は、歩道に設置されているため、壁などで囲うことが容易ではない状況である。昨年度のダイヤ改正時に、乗り継

ぎの待ち時間をできるだけ少なくした。現状において、どんな対策ができるか、関係機関とも協議し、早急に対応していきたいと考えている。

HPVワクチン積極的接種再開について

問 本市における通知実施世代における令和2年度の接種率および通知未実施であった令和元年度の対象者の接種率は。

答 令和2年度は、対象者数1,489名のうち、接種者数15名であり、接種率は1%だった。令和元年度は、対象者数1,439名のうち、接種者数4名であり、接種率は約0.3%だった。

問 ヒトパピローマウイルス^{※②}感染症に係る定期接種の今後の対応は。

答 本年11月26日付けの国からの通知に基づき、来年度4月から定期接種対象者に対し、積極的勧奨を行う。令和4年度は定期接種対象最終学年の高校1年生と標準的な接種期間の中学1年生の2学年に個別通知を行うなどの対応も考えている。

※①グリーンライフ・ポイント

プラスチック製スプーンの受け取りを辞退するなど、日常の環境に配慮した行動が、ポイントとして還元される仕組み。

※②ヒトパピローマウイルス

性経験のある女性であれば、約半数以上が生涯で一度は感染するとされる一般的なウイルス。子宮頸がんや膣がんなどの病気を発生に関わる。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



酒向信幸 議員

移住定住について

問 コロナ禍が長期化し、首都圏から地方に移住する動きがある中、今後の移住定住に対する施策の考え方は。

答 東京圏の人に、美濃加茂市を知ってもらう取り組みとして、東京と岐阜を繋ぐ情報誌「TOFU（トーフ）」に、本市に移住された方の紹介を掲載している。この情報誌を東京にある「岐阜ホール」に置いて美濃加茂市のPRや、関東圏の移住希望者を対象とした移住相談会に参加し、オンラインによる相談会を実施し、本市に興味を持ってもらえるよう働きかけている。

問 移住定住の促進や地域活性化を図るため、平成30年3月に空き家バンクが開設した。空き家の情報収集、登録に対する情報発信などこの制度に対する運営状況は。

答 現在、空き家バンクには、43件の物件登録があり、利用者登録は162人となっている。

物件の登録数を増加させるため、都市計画課と連携し、空き家の所有者に対して、空き家バンクのチラシを送るほか、地域住民との情報共有も積極的に取り組んでいる。

問 定住促進を図るため三和市営住宅の一部を用途廃止して定住促進住宅と位置づけ、設置及び管理に関する条例が平成28年9月に制定され5年が経過したが、現状までの実績と今後に向けての考えは。

答 利用実績としては、平成28年11月に三和町にある市営住宅18戸のうち6戸を定住促進住宅へ移行した。平成30年度までに5戸に入居されており、令和3年11月末現在は、6戸すべての住宅に入居されている。

今後については、空いている市営住宅を定住促進住宅へ移行して欲しいとの自治会要望もあり、地方で暮らしてみたいと思う若い世代が増えているなどの社会環境の変化も踏まえ、空いている三和市営住宅の一部を、子育て世代のための定住促進住宅に拡充していくことを進めていきたいと考えている。



田口智子 議員

withコロナの取り組みについて

問 「スポGOMI」の開催は。

答 スポGOMIについては環境美化とスポーツを融合した、楽しみながら参加できる社会貢献活動であり、環境保全と健康維持を兼ね合わせた効果的なイベントである。

「スポGOMI甲子園」の視察において、安全対策や関係団体の協力などの問題をクリアし実現の方向で協議を進めたいと考えている。

「ローカルSDGsみのかも」について

問 「ソーシャルビジネスシティ宣言」の今後の進め方は。

答 本市は10月3日にソーシャルビジネスシティ^{※①}宣言を行った。地域課題に対して民間の資金やノウハウを活用し、利益を得ながら解決を図るものであり、今後は民間事業者のニーズやアイデアを聞くサウンディングを参考に、公募型プロポーザル方式^{※②}

によって、「ソーシャルビジネス」の提案を募集し、その中の5～6件程度を試験的に行う事業として次年度に実施することを予定している。

問 まちづくりの課題を市民や事業者からの提案を活かす、まちづくりDXについての考えは。

答 ローカルSDGs推進の中で市民や事業者からの、まちづくりの課題や解決するアイデアを提案してもらうアプリでの「まちづくり提案システム」の構築を検討している。

また、このシステムに提案するとそのお礼として市内の農産物を還元する等、地域経済が循環する仕組みとして、デジタルでのポイント制度の導入を検討しており、今年度内に実証実験を予定している。

その結果を受けて、次年度以降にポイント制度の本格導入を目指し「まちづくりDX」の基本構想を策定していく。

※①ソーシャルビジネスシティ
社会課題を起点にまちづくり
に取り組む考え方。

※②公募型プロポーザル方式
業者の参加を公示により広く
募集し、事業者からの企画提案
書などを審査して業者を選定す
る方式。



SDGs 未来都市
みのかも

「ローカルSDGsみのかものロゴ」

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



坂井文好 議員

農と食について

問 「里山印」ブランドの農産物認定における農薬や化学肥料の使用量、また化学肥料に代わる地域循環型有機肥料の使用や、環境への負荷基準等は。

答 「里山印」の認定基準については、現在4つのテーマを柱として、その骨子を固めたところである。

①「土づくり」で、「地域循環型 有機肥料」等を活用し、農地の微生物等が、元気で健康な「土」を目指す。

②「いきものを守る」で、「環境負荷を低減した」農業を通じて、農地やその周辺地域の多様な生き物が、元気で健康な「生物多様性」を目指す。

③「人をつなぐ」で、里山整備や有害鳥獣被害防止対策、農業体験、農福連携等、生産者以外の多くの皆さんにも、農業に関わっていただき、元気で健康な「地域社会」を目指す。

④「地球にやさしく」で、化学農薬・化学肥料の使用低減や使用機器の電力化等により、CO₂排出

量を削減し、元気で健康な「地球」を目指す。

以上の4つのテーマについて、市内の圃場で、学識経験者や関係機関の協力のもと、認定基準の検証を実施している。次年度から、「里山印」の農産物がデビューできるよう策定を進めていきたい。

問 里山千年構想とみのかも農業ビジョン。孫子の代まで残していきたいこの地域の魅力を歴史や文化と併せて、「食育」というカタチで進めていきたいが、市の考えは。

答 「みのかもSDGs推進協議会」の「観光部会」では、「食と健康」について協議しており「里山と共存する農業の取組」自体が、「重要な観光資源」と捉えられている。その広がりが「食育」につながることが期待される。

「食育」の推進には、学校や家庭での取り組みと共に、「里山農業」や「健康食」の体験を、生産者や飲食店等を通じて、提供していただくことも必要であり、「講演会」開催と共に、様々な場面を通じて、「食育」の機会を提供し、その輪を広げていくことが大切である。



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 新庁舎整備事業説明会について、11月に行われた各地区の参加人数、意見内容は。

答 11月8日から30日までに、12会場で合計200名の参加があった。多様な意見をいただき、例えば、新庁舎へのアクセス道路の整備への期待や財政負担の軽減、若い世代の意見の反映、整備地の早い決定と事業の推進、各地区のサテライト拠点の充実を求める意見などがあった。

問 持続可能な庁舎について、まちが元気になる庁舎とは。

答 新庁舎整備基本構想では、新庁舎整備の基本理念として「みんなのまあるいまちづくりひろば」が掲げられている。市役所が「市民が主人公となって日常を豊かに過ごすことができるまちづくりを行う拠点」となることがうたわれている。人が行き交い商いを育み、まちのにぎわいを生む、美濃加茂での暮らしを楽しくする庁舎とされている。

問 安心安全な庁舎とは。

答 市民の生命・財産を守る防災拠点としての役割を果たすことができる庁舎である。

問 すべての人にやさしい庁舎とは。

答 ユニバーサルデザインやバリアフリーの導入により、子ども連れや高齢者の方、障がいをもたれた方、外国人の方などすべての人が利用しやすい庁舎であり、職員にとっても働きやすい庁舎である。

問 市民が集う開かれた庁舎とは。

答 市民が気軽に立ち寄ることができ、まちづくりについて職員と共に考え、市民活動を支援する市民協働の拠点となる庁舎である。

新型コロナウイルスについて

問 緊急事態宣言解除後の対応は。

答 第5波到来時に発出された緊急事態宣言は、9月末をもって解除されたが、公共施設の利用における定員制限及び施設内での会食禁止を継続してきた。11月19日に国が「感染症対策の基本的対処方針」、県が「感染拡大防止と社会経済活動の両立」を示され、市内の公共施設の利用制限の緩和を公表した。第6波の懸念もあるため、引き続き感染防止対策の協力をお願いする。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



渡辺孝男 議員

ごみ問題について

問 クリーン作戦の草などは、粉碎され堆肥などに再利用されている。SDGsに取り組む本市として、緑ごみを別回収し再利用することもよいと思うが市の考えは。

答 緑ゴミの分別収集については、可燃物の減量による負担金の減額、緑ごみを堆肥化することによる循環利用などのほか、野焼き行為の減少も期待できるが、緑ゴミの排出量や手数料のほか回収運搬や処理事業者に係る経費など課題もある。今後、課題解決に向け検討を進めるとともに、一旦、緑ゴミをストックする場所を確保するなど、実現の可能性を探りたいと考えている。

問 本市は災害時の廃棄物仮置き場をどのように考えているか。

答 災害時における廃棄物仮置き場は、ライン公園と下米田グラウンドを指定しているが、実際に被災した地区や状況によっては、他のグラウンドを仮置

き場に指定するなど、臨機応変な対応も考えている。

防災意識向上について

問 防災意識向上の教育内容は。

答 「総合的な学習」は、市の防災安全課の職員、防災士、消防団などの講話を聞いたり、校区の地図を用いて危険個所を確認したりする活動を行っている。今後も校区による特徴を踏まえ防災キャンプや、水害への備えなど地域の実態に即した学習や文化の森に整備された「地域・防災情報室」等での学習を実施し防災意識を高めていく。

問 災害協定企業との防災訓練は。

答 協定が有効に機能するためには、定期的な訓練が必要であり企業の防災意識向上に繋がる。年度内に災害物資の搬入訓練の実施に向け調整を進めている。また、今後様々な状況を想定した訓練を実施し企業との連携強化と協定に関する住民周知も図っていく。



防災教育で 사용되는資料



永田徳男 議員

農業作業車の車輛登録について

問 啓蒙・指導の現状はどのようになされているのか。

答 毎年度、広報みのかも1月号に農耕作業用車両の登録に関する啓蒙の文章を掲載しており、市ホームページにも「農耕作業用自動車を所有するみなさまへ」として掲載しており、農業委員会を通じて「みのかも農業委員会だより」において、車両の登録の申告をし、ナンバープレートの交付を受けなければならないことを、毎年掲載していただき、周知している。

その他、平成30年度からは、確定申告等で農業収入の申告をされている市民で農耕作業用車両を減価償却費の経費として計上されてみえる方については、税務署の協力を得て調査し、市の農耕作業用の車両登録台帳と照合し、登録が確認できない所有者に対し、登録をしていただくよう通知文書を送付している。

問 現在、市民の所有している農業車両台数の把握の現状と、ナンバープレートをつけないことでの罰則の有無は。

答 農耕作業用車両は、申告により登録し、ナンバープレートを交付しているため、その登録された台数は把握しており、令和3年4月1日の賦課期日現在において、当市で小型特殊自動車の農耕作業用車両として登録されている台数は、729台であるが、市内の全ての未登録車両台数は、把握していないのが現状である。

美濃加茂市税条例第70条の規定により、軽自動車等の所有者などが、正当な理由がなく申告等をしなかった場合においては、10万円以下の過料に処することになっている。





牧田秀憲 議員

医療拠点について

問 中部国際医療センターや健康プラザ周辺道路の渋滞対策をどのように考えたか。

答 病院北側の市道矢田310号線からの西側乗入れ口を病院職員や救急車両の出入り口とし、他の4箇所を一般利用者の乗入れとして、出入り口の分散化を図っている。そのうち一箇所は、交差点に近い乗入れのため、左折のみの出入りとしている。

また、これらの対策と同時に市道中部台404号線の舗装改良工事を実施、市道井口石橋線の区画線工事も予定しており、周辺道路の交通安全対策も行っている。

今後については施設の供用開始後の交通状況を注視しながら、必要に応じた対策を講じていきたいと考えている。

古井駅周辺における立地適正化について

問 あじさい保育園統合による、古井第一保育園の

跡地利用は。

答 跡地については、発達障がいに対する支援に関して、切れ目のない相談支援体制を強化し、さらには利用者が乳幼児期から成人になっても本人及びその家族が気軽に相談できる機能を併せ持った施設として、発達支援センターの整備を予定している。国の補助事業を活用し、令和7年度の開所を予定している。

問 旧JAめぐみの古井支店の跡地利用は。

答 JAとしては、建物と土地について売却または賃貸借を視野に入れながら、地域貢献できるような活用を検討しているとのことである。本市としては、事務所を放課後児童健全育成事業（学童保育）や地域活動拠点などに、また、大型倉庫については防災備蓄倉庫としての活用の協議を考えている。



旧JAめぐみの古井支店



前田 孝 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

問 本市のワクチン接種1回目・2回目の現状は。

答 12月5日現在、12歳以上の対象人口51,189人の内、1回目接種者44,156人（86.3%）、2回目接種者43,745人（85.5%）である。

問 新型コロナウイルス感染症予防接種証明の発行の対応は。

答 現在は、海外渡航者に限定し、12月5日までに244件の申請を受理して発行している。

問 ワクチン未接種対象者に対し、その理由についてアンケートが出されているが、個人情報であり管理に問題はないか、又「ワクチンハラスメント」についてはどうか。

答 このアンケートは、未接種者の年代、接種希望者の可否、希望しない理由の調査で個人を特定する項目は調査していないため、個人情報の管理上問題はない。ワクチンハラスメントは、接種の強制や希望しない方に差別的な扱いをすることは許されな

い。本市は広報9月号・11月号で「個人の判断を尊重しよう」という記事を掲載し周知した。

問 ワクチン3回目の接種についての対応は。

答 12月1日より医療従事者、1月から高齢者福祉施設入所者・施設従事者、2月より75歳以上の高齢者で、2回目の接種から8カ月経過した方が対象で市内の医療機関で接種できる。

自治会の家庭ごみ集積所について

問 集積所に名前無記名の家庭ごみが放置されているが、市は状況をつかんでいるか。また、対策は行っているか。

答 無記名のごみ袋の実態は自治会からの相談で認識している。ごみ袋への記名は、排出ルールを守れない方を指導するために必要であり、不法投棄やルール違反を抑止する手段として、例えば防犯カメラの設置など含め、有効な対策を行っていきたい。

問 自治会未加入者の家庭ごみはどのようにしているのか。

答 最寄りの自治会に相談して、その自治会のルールに従い排出してもらっている。

活動
ピックアップ

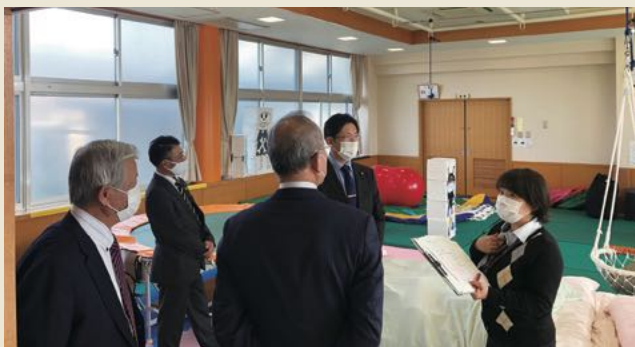
文教民生常任委員会で勉強会を行いました

美濃加茂市における児童発達支援と発達保障について、児童発達支援センター・カナリヤの家 所長 石原京子氏と社会福祉協議会障がい者相談支援センター 奥村高久氏を講師に招き勉強会を行いました。

発達支援では、新就学時における支援対象児の状況・国の障がい児施策について・カナリヤの家についてなど、発達保障では、障がい者相談センターについて・発達支援に関わる分野と機関・施策の概要などを講義していただきました。

また、カナリヤの家の現地視察も行き、普段行われている支援業務を見ることができました。

委員会としても、まだまだ勉強することが多いため、今後も引き続き調査・研究に努めてまいります。



今月号から新たな編集委員が
編集を行いました。

【議会だより編集委員】

委員長：(中央左)坂井文好

副委員長：(中央右)永田徳男

委員：(左から)村瀬正樹、森弓子、柘植宏一、片桐美良



次の定例会の予定

令和4年市議会第1回定例会

2月24日(木) 初日

3月8日(火) 一般質問

9日(水) 一般質問

10日(木) 一般質問

11日(金) 質疑

23日(水) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。
 詳細は議会事務局までお問い合わせください。

第4回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんに作っていただきました。

次回の議会だよりは、令和4年5月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

編集後記

今年の干支である「壬寅(みずのえとら)」は、「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表しています。

ここ2年間、わたしたちは大変なコロナ禍を過ごしてきました。新しい価値観、生活様式、働き方などに向かって世の中が大きく変化してきました。持続可能な未来への挑戦の始まりです。

市議会だよりの編集も昨年10月より、新たなメンバーでスタートしました。市政一般や議会活動の中身を分かりやすく、そして読みやすいものとし、愛される市議会だよりとなるよう努めてまいります。

坂井 文好

